

実務経験のある教員等による授業科目の配置 2026年度

科目区分	授業コード	授業科目名	単位数	担当教員名	授業科目と実務経験の関係
学士課程基幹教育科目(全学共通) (12単位)	10273 10274	数学とは何か	2	中川 明子	大阪府立の高等学校での教員経験を活かし、この授業では、数学的な活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指します。
	10310 10311	地域課題とボランティア活動	2	萩原 雅也	教育委員会で社会教育主事として業務に携わった経験を活かし、この授業では、ボランティア活動などの市民活動が持つ意義を講義し、ボランティアをはじめとする地域社会と連携した活動を進める基礎的な知識とスキルを学生に身に付けさせます。
	10360	キャリア実習A(就業体験型)	2	兒島 尚子	企業で秘書として携わった経験等とキャリアコンサルタントの国家資格を活かし、この授業では、就業体験等から学生に自己の職業適性や将来設計について考えてもらい、多様な人々と仕事をしていくために必要とされる社会人基礎力を身につけさせます。なお、本科目は学外での就業体験だけでなく、学内での事前授業、事後授業、発表をとおして、就業体験と大学での学習を統合し、将来設計について主体的に考えることを目指します。
	10361	マナーとホスピタリティ	2	兒島 尚子	企業で秘書として業務に携わった経験を活かし、この授業では、社会生活において好印象を与えるマナーを理解してもらい、現代社会であらゆる組織、企業で必須とされる「ホスピタリティ」が実践できるようになり、ビジネスに反映できる能力を身につける教育を行います。
	18204	博物館展示論	2	大澤 研一	現職の博物館職員として30年を超える経験を活かし、授業では展示の考え方や手法の変遷を詳しく紹介するとともに現地見学を織り交ぜつつ実務についても理解を深めてもらいます。そして学芸員を目指す学生の基礎の確立を目指します。
	18400 18401	生涯学習概論 I	2	西尾 征樹	教育委員会では社会教育主事として業務に携わった経験を活かし、この授業では、生涯学習理念、教育に関する法規・制度、自治体の行政の仕組み、社会教育の特質と内容並びに学校教育・家庭教育との関連、社会教育施設の概要と運営、学習活動への支援等について学ばせるようにします。なお、この授業科目は司書・社会教育主事・学芸員等の社会教育に関する専門的資格取得に不可欠な生涯学習・社会教育に関する基礎知識を獲得させる科目としても位置づけられます。
リベラルアーツ学科 専攻科目 (14単位)	17019	文化政策学	2	笠井 賢治	自治体職員として文化行政に携わっている経験を活かし、行政が行う計画策定や実施のプロセス、基礎的な法令を学ぶことで文化政策の現状を学びます。また、文化財の保護や歴史的資産を活かしたまちづくりなど自治体が行う文化政策を学ぶことで、社会における文化の役割を考え、地域社会を担う人材の育成を目指します。
国文学科 専攻科目 (16単位)	18133	書道科教科教育法A	2	八巻 敏幸	大阪府立の高等学校での教員経験を活かし、この授業では、指導方法の研究や授業展開の工夫などの研究を行い、模擬授業を通して、生徒が自ら考え自ら学ぶ授業の在り方を考察し、指導者としての資質、能力、実践力・指導力を育成します。
	18134	書道科教科教育法B	2	八巻 敏幸	大阪府立の高等学校での教員経験を活かし、この授業では、指導方法の研究や授業展開の工夫などの研究を行い、模擬授業を通して、生徒が自ら考え自ら学ぶ授業の在り方を考察し、指導者としての資質、能力、実践力・指導力を育成します。
国際英語学科 専攻科目 (26単位)	12036	国際英語企業実習	2	高橋 悟	総合商社及び国際協力機構（JICA）における海外勤務・渡航経験を活かし、この授業では、大学での勉強内容と就業体験を統合し、学生にさらなる学習の機会と方向性をつかんでもらう。また企業での実習を通して、自己の職業適性や将来設計について主体的に学生に考えさせる。なお、この科目は学外でのインターンシップの体験を授業の中心に位置づけているものである。
	12040	国際関係論	2	高橋 悟	総合商社及び国際協力機構（JICA）における海外勤務・渡航経験を活かし、この授業では、国家と多様な政府・非政府機関から成る国際社会の相互関係を学んでいただきます。これを通して、自らが国際社会の一員であることを自覚し、平和で豊かな社会の実現に向けて貢献する態度・姿勢を身に付けることを目指します。
	12057	観光ホスピタリティ論	2	高橋 悟	総合商社及び国際協力機構（JICA）における海外勤務・渡航経験を活かし、この授業では、近年の訪日外客数の動向を視野に入れ、観光とホスピタリティの概念、観光を含む旅行・航空・宿泊業における様々なホスピタリティのあり方についての理解を促す。
	18137	英語科教科教育法A	2	野口 幸一	高校での英語教諭の経験を活かし、この授業では、英語の「読む・聞く・話す・書く」の4技能を育成するための教育法について実践的な教育を行なう。
	18138	英語科教科教育法B	2	野口 幸一	高校での英語教諭の経験を活かし、この授業では、英語の「読む・聞く・話す・書く」の4技能を育成するための教育法について実践的な教育を行なう。
	18139	英語科教科教育法C	2	野口 幸一	高校での英語教諭の経験を活かし、この授業では、英語の「読む・聞く・話す・書く」の4技能を育成するための教育法について実践的な教育を行なう。
	18140	英語科教科教育法D	2	野口 幸一	高校での英語教諭の経験を活かし、この授業では、英語の「読む・聞く・話す・書く」の4技能を育成するための教育法について実践的な教育を行なう。
言語文化 コミュニケーション学 科 専攻科目 (18単位)	12505	多文化共生社会	2	櫻田 和也	地域文化、人権問題にかかわるNPO職員・役員として20年来的経験とネットワークをいかし、多文化共生社会の現状と課題にとりくむ国内外さまざまな事例をふまえて互いの文化的な相違を理解し、すべてのひとの基本的な人権をまもる、多様でゆたかな地域社会を展望します。
	12511	言語学とデータ	2	大村 舞	言語のデータベースであるコーパス構築に取り組んだ研究員での実務経験を活かし、この授業では実際に公開されているデータを使用したり、実用的な技術を示すなどとして実践的かつ実用的な授業をおこないます。
	12512	言語データ処理実習	2	大村 舞	言語のデータベースであるコーパス構築に取り組んだ研究員での実務経験を活かし、この授業では実際に公開されているデータや技術を使用した実践的かつ実用的な授業をおこないます。

実務経験のある教員等による授業科目の配置 2026年度

科目区分	授業コード	授業科目名	単位数	担当教員名	授業科目と実務経験の関係
心理学科 専攻科目 (15単位)	14026	心理学的支援法	2	坂田 浩之	医療・保健、教育、福祉の現場において臨床心理士・公認心理師として業務に携わった経験を活かし、この授業では、さまざまな心理療法・カウンセリングの技法、心理療法・カウンセリングを行う時に必要となる臨床心理学の理論、クライアントとセラピストの治療的関係性について教育を行います。
	14525 14526	ソーシャルワーク演習	1	西 友子 長谷川 章子	医療機関で精神保健福祉士として業務に携わった経験を活かし、この授業では、個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る基礎的な知識と技術に関する具体的な実技を身につけさせます。
ライフプランニング 学科専攻科目 (20単位)	15017	資産の運用と管理	2	竹内 靖浩	証券会社勤務の経験を活かし現役証券会社社員講師の授業でわかりにくい点などをわかりやすく解説を付け加え学生の理解促進を図っていきます。
	15044	企業活動とキャリア研究	2	高松 直紀	企業等でキャリアコンサルタントとしてキャリアコンサルティングや採用業務に携わった経験を活かし、この授業では、キャリア理論を活用することや他者の体験を聞くことなどをして、就職活動やキャリア選択について主体的に取り組む力を身につけさせます。
	15045	ビジネス・マナー	2	兒島 尚子	企業で秘書として業務に携わった経験を活かし、この授業では、ビジネスで必要なコミュニケーションスキルや事務処理能力、またビジネスマナーを身につける教育を行います。
	15046	ビジネス・コミュニケーションB	2	兒島 尚子	企業で秘書として業務に携わった経験を活かし、この授業では、ビジネスで必要なコミュニケーションスキルや事務処理能力、またビジネスマナーを身に付ける教育を行います。
化粧品ファッション学科 専攻科目 (ファッション学コース) (16単位)	16016	メイクデザイン論	2	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクアップとその周辺領域の基礎的知識の修得を通して、メイクデザインに関する多角的な視点を獲得させる。
	16092	化粧品基礎科学	2	高田 定樹	化粧品会社で化粧品科学研究・技術開発に携わった経験を活かし、この授業では、科学が身近なものであることが実感できるように、化粧や身体装飾に関する工学・皮膚科学、化粧品科学の特異性を理解しつつ、化学に関する基本的事項を学ばせます。
化粧品ファッション学科 専攻科目 (化粧品学コース) (16単位)	16016	メイクデザイン論	2	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクアップとその周辺領域の基礎的知識の修得を通して、メイクデザインに関する多角的な視点を獲得させる。
	16092	化粧品基礎科学	2	高田 定樹	化粧品会社で化粧品科学研究・技術開発に携わった経験を活かし、この授業では、科学が身近なものであることが実感できるように、化粧や身体装飾に関する工学・皮膚科学、化粧品科学の特異性を理解しつつ、化学に関する基本的事項を学ばせます。
化粧品ファッション学科 専攻科目 (美容コース) (18単位)	16016	メイクデザイン論	2	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクアップとその周辺領域の基礎的知識の修得を通して、メイクデザインに関する多角的な視点を獲得させます。
	16513	表現の技術 A	2	松下 友季栄	美容師としての実務経験を活かし、この授業では、美容技術理論のうち美容用具の取り扱い方、シャンプーの理論、ヘアカッティングの理論等を身に付けさせて、実践力を向上を目指します。
	16514	表現の技術 B	2	松下 友季栄	美容師としての実務経験を活かし、この授業では、美容技術理論のうちパーマメントウェービングの理論、ヘアセッティングの理論、ヘアカラーリングの理論等を身に付けさせて、実践力の向上を目指します。
児童教育学科 専攻科目 (31単位)	40056	算数	2	一柳 康人	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
	40057	理科	2	中堂 寿美代	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
	40058	生活	2	中堂 寿美代	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
	40098	教職研究	1	一柳 康人 中堂 寿美代	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
	40149	初等教科教育法(算数)	2	一柳 康人	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
	40150	初等教科教育法(理科)	2	中堂 寿美代	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。

実務経験のある教員等による授業科目の配置 2026年度

科目区分	授業コード	授業科目名	単位数	担当教員名	授業科目と実務経験の関係
	40151	初等教科教育法(生活)	2	中堂 寿美代	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
	40200	小学校教育実習	4	一柳 康人 中堂 寿美代	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
	40201	教育実習指導(小学校)	1	一柳 康人 中堂 寿美代	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
	40207	初等教科教育法(理科)	1	中堂 寿美代	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に示します。
健康栄養学科・ 管理栄養士専攻 専攻科目 (40単位)	13025 13026	臨床病態学総論	2	三善 陽子	医師としての経験を活かし、病態学の理解に必要な事項の解説を加えながら、臨床医学の実際についても論じます。病気(疾病)についての総合的な知識と病理・病態学的専門用語や医学用語、各臓器に共通する基本的病変や病因(病態)について理解を深めます。
	13027 13028	臨床病態学各論	2	三善 陽子	医師としての経験を活かし、病態学の理解に必要な事項の解説を加えながら、臨床医学の実際についても論じます。病気(疾病)についての総合的な知識と病理・病態学的専門用語や医学用語、各臓器に共通する基本的病変や病因(病態)について理解を深めます。
	13036 13037	食品プロセス学	2	稲垣 秀一郎	食品メーカーで研究開発に携わった経験を活かし、この授業では、食生活における食品の加工および貯蔵技術、また加工食品の規格・表示と関連法規から食品の安全性への考え方を理解し、多種の加工食品を日常生活で上手に利用していく知識を身につかせます。
	13038 13039	食品プロセス学実験A	1	稲垣 秀一郎	食品メーカーで研究開発に携わった経験を活かし、この授業では、素材から食品が製造されるまでのプロセス、栄養面・安全面・嗜好面も含めて食品の特性、市販加工食品の特徴を、実習を通して学生に理解してもらいます。
	13040 13041	食品プロセス学実験B	1	稲垣 秀一郎	食品メーカーで研究開発に携わった経験を活かし、この授業では、素材から食品が製造されるまでのプロセス、栄養面・安全面・嗜好面も含めて食品の特性、市販加工食品の特徴を、実習を通して学生に理解してもらいます。
	13077 13078	臨床栄養学A	2	井尻 吉信	内科クリニックにおいて、のべ1500名の外来栄養食事指導を行ってきた経験を活かし、より実践的な授業を展開します。
	13079 13080	臨床栄養学B	2	井尻 吉信	内科クリニックにおいて、のべ1500名の外来栄養食事指導を行ってきた経験を活かし、より実践的な授業を展開します。
	13081 13082	臨床栄養学C	2	林 直哉	病院での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では、チーム医療として対象者の栄養状態の改善・維持・向上、QOLの向上を目標とした栄養管理の実践に必要な栄養アセスメントの方法、その他の基礎的事項の解説を加えながら、栄養療法が必要な疾患の本質および臨床栄養学の実際について論じ、学生に対し、栄養療法の必要な病態についての総合的な理解、NST活動に必要な専門用語や医学用語の理解、各疾患に共通する基本的な栄養管理教育を行います。
	13083 13084	臨床栄養学D	2	林 直哉	病院での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では、チーム医療として対象者の栄養状態の改善・維持・向上、QOLの向上を目標とした栄養管理の実践に必要な栄養アセスメントの方法、その他の基礎的事項の解説を加えながら、栄養療法が必要な疾患の本質および臨床栄養学の実際について論じ、学生に対し、栄養療法の必要な病態についての総合的な理解、NST活動に必要な専門用語や医学用語の理解、各疾患に共通する基本的な栄養管理教育を行います。
	13087 13088	臨床栄養学実習B(学内)	1	井尻 吉信	内科クリニックにおいて、のべ1500名の外来栄養食事指導を行ってきた経験を活かし、より実践的な授業を展開します。
	13095 13096	給食経営管理論A	2	赤尾 正	病院での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では、喫食者の健康・栄養状態の改善・維持・向上、QOLの向上を目標とした給食の提供のために必要な運営や関連資源(人・物・金・情報など)ならびにマネジメント(栄養・食事管理、生産管理、品質管理、施設・設備管理、安全・衛生管理)の基本的な考え方や実践方法について理解を求めます。
	13097 13098	給食経営管理論B	2	赤尾 正	病院での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では、喫食者の健康・栄養状態の改善・維持・向上、QOLの向上を目標とした給食の提供のために必要な運営や関連資源(人・物・金・情報など)ならびにマネジメント(栄養・食事管理、生産管理、品質管理、施設・設備管理、安全・衛生管理)の基本的な考え方や実践方法について理解を求めます。
	13099 13100	給食経営管理実習A(学内)	1	赤尾 正	病院での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では、喫食者の健康・栄養状態の改善・維持・向上、QOLの向上を目標とした給食の提供のために必要な運営や関連資源(人・物・金・情報など)ならびにマネジメント(栄養・食事管理、生産管理、品質管理、施設・設備管理、安全・衛生管理)の基本的な考え方や実践方法について理解を求めます。
	13101	実践栄養管理研究	2	林 直哉	病院での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では、栄養関係の言語と栄養管理の方法を国際的に標準化された栄養管理プロセスの手法について論じ、学生に対し、栄養管理とケアを必要とする者に対して効果的かつ効率的なサービスができるようになるための知識・技術教育を行います。
	13153	学校食教育概論	2	田中 由起子	栄養教諭としての経験を活かし、この授業では、栄養教諭の職務内容や使命、役割を理解するために実践的な教育を行います。そのため、食生活に関する歴史や食文化、児童・生徒の栄養に係る諸課題を踏まえた上で、給食の時間や教科における食に関する指導、食物アレルギー等特別な指導を要する児童・生徒への個別的な相談指導等の必要性について、具体例を通して学びを深めます。

実務経験のある教員等による授業科目の配置 2026年度

科目区分	授業コード	授業科目名	単位数	担当教員名	授業科目と実務経験の関係
	13154	学校食教育実践論	2	田中 由起子	栄養教諭としての経験を活かし、この授業では、栄養に関する専門性および教育に関する専門性を併せ持つ栄養教諭として、必要な知識・技能を身に付けさせるために実践的な教育を行います。その具体例として、学校給食に適した献立作成、衛生管理基準に基づく作業工程表・作業動線図の作成、食に関する指導のための指導案および教材作成、さらに模擬授業を実施することを通して、学びを深めます。
健康栄養学科・ 食物栄養専攻 専攻科目 (22単位)	13505	臨床病態学	2	三善 陽子	医師としての経験を活かし、病態学の理解に必要な事項の解説を加えながら、臨床医学の実際についても論じます。病気（疾病）についての総合的な知識と病理・病態学的専門用語や医学用語、各臓器に共通する基本的病変や病因（病態）について理解を深めます。
	13510	食品プロセス学	2	稲垣 秀一郎	食品メーカーで研究開発に携わった経験を活かし、この授業では、食生活における食品の加工および貯蔵技術、また加工食品の規格・表示と関連法規から食品の安全性への考え方を理解し、多種の加工食品を日常の食生活上で上手に利用していく知識を身につける。
	13511	食品プロセス学実習	1	稲垣 秀一郎	食品メーカーで研究開発に携わった経験を活かし、この授業では、素材から食品が製造されるまでのプロセス、栄養面・安全面・嗜好面も含めて食品の特性、市販加工食品の特徴を、実習を通して学生に理解してもらいます。
	13521	臨床栄養学実習	1	林 直哉	病院での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では、対象者の栄養状態の改善・維持・向上、Q O Lの向上を目標とした栄養管理の実践に必要な栄養食事療法と栄養補給方法の基本的な考え方について実習をします。栄養管理の実践の基本となる必要栄養量の補給については、数値を目標とするのではなく継続できる栄養食事療法の実践的な教育を行います。
	13540	学校食教育概論	2	田中 由起子	栄養教諭としての経験を活かし、この授業では、栄養教諭の職務内容や使命、役割を理解するために実践的な教育を行います。そのため、食生活に関する歴史や食文化、児童・生徒の栄養に係る諸課題を踏まえた上で、給食の時間や教科における食に関する指導、食物アレルギー等特別な指導を要する児童・生徒への個別の相談指導等の必要性について、具体例を通して学びを深めます。
	13541	学校食教育実践論	2	田中 由起子	栄養教諭としての経験を活かし、この授業では、栄養に関する専門性および教育に関する専門性を併せ持つ栄養教諭として、必要な知識・技能を身に付けさせるために実践的な教育を行います。その具体例として、学校給食に適した献立作成、衛生管理基準に基づく作業工程表・作業動線図の作成、食に関する指導のための指導案および教材作成、さらに模擬授業を実施することを通して、学びを深めます。